

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

April 2023

## 十勝の雪開け

雪解けが進み、建物の影以外は長く着ていたあの白い衣が取れてきました。屋には+10℃を越え、朝の気温も氷点下がなくなりました。黄色の福寿草や鮮やかな紫色のクロッカスがぽつりぽつりと花を咲かせてきました。5時前、朝開けが始まるとともに、鳥たちが活発にさえずり飛び回ります。上空をハクチョウのへの字編隊が通過します。地上でもキツネ動き回り、増えつつあるアライグマ遭遇も耳にします。

牛たちも乾いたパドックに出てジーっとしていることが多くなりました。まだ、放牧地は水抜けが悪くグチャグチャ状態で出せません。その中でも町営牧場に出す牛たちにワクチン接種が始まりました。そして畑の堆肥撒きの準備です。冬の間に堆肥を切替し完熟させておきました。これを畑に散布機で撒いてゆきます。春の農作業の準備が着々と始まっています。



## 活動のお知らせ

- 3/ 7(火)~10(金) **FOODEX JAPAN 2023 国際食品・飲料展「北海道十勝物産館」** 東京ビッグサイト  
《多数の来場者が来られ盛況でした》
- 3/28(火) **日本産肉研究会第31回学術集会 シンポジウムテーマ「なぜ放牧牛肉は普及しないのか」**  
13:00~16:45 北海道大学地球環境科学院オンライン(ZOOM) 参加費:500円(現地参加者の非会員のみ:講演要旨代)、オンライン無料  
・「ニュージーランドの放牧牛肉の歩みと現状」David Allen (NL大使館 参事)  
・「流通業者から生産者に」花房 俊一(株式会社北の牧場舎)  
・「大学職員から販売者に」佐々木 学(株式会社わっか)  
・「農経の視点から想う我が国の持続可能な畜産」(仮) 正木 卓(酪農学園大学)  
《参加者 来訪者60名 WEB参加60名》
- 4/11(火) **北海道短角牛振興協議会 令和5年総会** 北海道大学農学部  
4/13(木) **HOBA北海道オーガニックビーフ振興協議会第7回総会** とかちプラザ  
6/ 9(金) **第24回環境リサイクル肉牛協議会総会** 道総研畜産試験場

## NEWSばか読み

- 農水省 生乳需給政策 乳量削減要件で5%減4万頭淘汰 3/1:減らしが原則
- 2月鶏卵 327円過去最高値3/1:どこまで上がる
- 乳価、再値上げ要求拡がる3/3:厳しい現状
- 鳥インフル処理 1,500万羽超え3/3:様々な影響
- 1月農産品輸出10か月ぶりに減少 牛肉鶏卵落ち込む3/4:時期的か
- 静岡県 食と農をつなぐSDGSの認証制度を実証開始 3/6:認証査定はいかに
- 宮崎大 牛リンパ腫の検査及び抵抗性判別法を開発3/8:期待大
- 大阪国際大学 昆虫ビジネスでミズアブ飼料化を検討 3/8:今後増えるのでは
- 対米牛肉23年度低率関税枠を7割消化 ブラジル産が占める 3/9:取り合い
- 農水予算 22都府県で増 国産転換や有機を後押し3/10:北海道は
- 鳥取 大山乳業 酪農家におから飼料を供給3/10:相互協力
- 牛マルキン 44都道府県で発動 素牛高、販売低下3/11:拡大
- 農水省 白書で食糧安保強化を格子案に3/14:自給率の向上
- 神明畜産(釧路) 神内ファーム21が経営引き継ぐ 3/14:道内牛生産シェア拡大
- 公庫 22年農業景況感 過去最悪 酪農深刻3/15:より分析必要
- 農水省 輸入小麦払下げ価格4-9月値上げ幅を5.8%抑制 3/15:うどん屋閉店の報

- Jミルク 脱脂粉乳消化対策に農家の負担金1.40円 3/16:負担させるの
- 農水省 全国の酪農家減少 東海近畿で10%3/17:深刻さ
- 財務省 2月貿易赤字9,000億円10/17:構造的
- 中酪調査 酪農家の85%が赤字に10/18:拡大
- JAホクレン 全道で酪農緊急集会を開催10/20:危機感共有
- 中酪 生乳受託が5%減 最大の減少幅10/20:真摯な取り組み反映か
- 飼料価格1月 Tあたり10万円最高水準続く10/21:変わらず危機
- Jクレジット 農業取得が4件どまり10/23:意識の低さ反映
- 配合飼料4-6月価格2,000円下げ高水準10/23:変わらず
- 鶏卵相場7割アップ エッグショック外食使用メニュー休止 3/24:深刻さ拡大
- 政府 1-3月飼料8,500円 自家配(輸入トウモロコシ使用) 1,200円支援3/25:
- 22年輸入乾牧草 昨対43%高の75千円/t 3/28:どこまで
- フードサービス協 2月外食売上23%増 コロナ前上回る 3/28:本格的
- ばんえい競馬 22年度売上554億円過去最高3/28/:金が流れる
- 阪大伊藤ハム 培養肉の実用化を目指す協議会設立3/29:多様化
- 農水省との農業基本法改正で意見交換会行われる 3/29:内実いまいち
- 関東乳連 8月から乳価10円上げ3/29:北海道が遅れる
- CA今年度枠 全量落札消化へ 生乳換算14万t 3/31:余っているのになぜ

## 東京直近NEWS(3/29 Shi-REPORT)

## ホルス

販売状況非常に鈍く大阪市場で単発で@300台上場発生し全体軟調。パーツについてはバラ系切落し継続も全般鈍くタイミング次第ではパーツ余剰あり。特にカタローはシーズンオフから余裕ある場面発生、モモについても動き鈍いため売価下げ傾向。販売荷動き悪い。品質面での要求厳しくなっており交雑牛も相場下落から2等級パーツがホルス販売枠に侵食し売り場の取り合い場面も発生。

## 経産牛

経産牛相場はガリ系下げ基調も脂物は相場維持も全体上げ基調。上々頭数は当初補助金制度影響で増加傾向予測も、出回り頭数は大きく増加しておらず。ただし年度中にある程度頭数淘汰は進んでいる可能性高く、夏場以降の頭数が不透明。パーツの引合は一定維持も販売低調から場面によって、モモ赤身余裕あり。コース、バラ系は不足傾向。挽き材は一定注文維持しており、各産地余力無い状況継続模様。

